

もうすぐ市長選

子育て政策聞いてみた

候補者政策アンケート

市長選挙に際し、待機児童解をはじめとする子育て政策について、ご意見をお聞かせください。

いただいたご回答は、

- 1) 「回答全文」
- 2) 「候補者回答一覧まとめ」

* 各項目に目安文字数を記載しています。各回答文頭から目安文字数分を抜粋し、まとめを作成いたします。

** 目安文字数を越える場合は別紙で回答全文を掲載します。

を、当会ウェブサイト (hoikuen-hairitai.com) および SNS (Twitter, Facebook) に掲載し、子育て世代に届けさせていただきます。

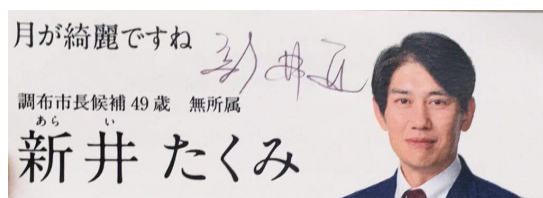
平成 30 年 6 月 26 日

みらい子育て全国ネットワーク

希望するみんなが保育園に入れる社会をめざす会

候補者名：

ご本人のご署名いただけますと幸いです。



1. 待機児童について

調布市ではH29年4月時点の待機児童数が312名と市から発表されています。しかし、認可外保育施設を利用する人が178名、特定園のみ希望している人41名は、この312名の中に含まれておらず、さらに認可保育園の申込み自体を諦めている保護者も相当数いると言われており、待機児童には未だ多くの課題が残されていると考えられますが、待機児童についてのお考えや、市の待機児童対策についての評価をお聞かせください。（目安文字数：150～200文字程度）

保育園をたくさん開園させても、保育士が確保出来なければ受け入れ体制が整いません。市の待機児童対策は、不十分であると思います。

2. 母子健康手帳交付時等の保育ニーズ調査について

潜在ニーズも含めて住民の保育需要をより正確に把握するため、母子健康手帳交付時や出生届提出時に保育ニーズを調査する取り組みが考えられます。実際に母子健康手帳交付時の調査を東京都の豊島区は始めています。この保育ニーズ調査についてのお考えをお聞かせください。（目安文字数：100文字程度）

行政はスピードが遅いので、今から調査を始めても、結果が公表され、サービスや情報として開示されるまでに、長い時間を要することが予想されます。民間企業のノウハウを取り入れながら、素早い情報開示が必要です。

3. 保育施設の不足について

待機児童問題は保育施設の不足が大きな原因の一つですが、今後保育施設を増やすためにどのような施策を講じていくことを検討していますか。またその優先順位についても考えをお聞かせください。（目安文字数：150～200文字程度）

私独自の考えは、保育園という形より、地域コミュニティプラザ事業として、元気なシニア世代の方々が、孫育てをするような保育施設を整えたいと考えております。施策に優先順位は無く、全てが同時進行しなければなりません。

4. 保育士の処遇改善、および業務の負担軽減について

保育士は他業種に比べ給与水準が低く、また日々の業務負荷が高いといったことから、資格を保有していながら保育士として働いていない潜在保育士が多く存在しており、各自治体／保育園では保育士の奪い合いといった状況になっています。

4-1. 保育の質と保育士の確保のために、保育士の処遇（給与や手当など）を改善することについて、考えをお聞かせください。また給与の引き上げを取り組みとして検討される場合は、どの水準まで引き上げるのが適切だとお考えですか。その場合は財源確保についてもお聞かせください。（目安文字数：150～200 文字程度）

保育士の質を上げるには、働きやすい環境と仕事に見合った対価が重要であると思います。それらが整えば、保育士の数は増加するものと思います。引き上げ水準としては、幼稚園教諭と同等がふさわしいと考えております。財源については、現在の歳出をしっかりと精査し、無駄を省き財源を確保いたします。

4-2. 使用済みのオムツ持ち帰り問題では、衛生面での問題に加え、保育士がオムツの仕分けをする負担があると言われていています。豊島区、文京区、三鷹市では今年4月から埼玉県越谷市では2018年度中に使用済みおむつの持ち帰りをやめ認可保育園で処理する方針としています。使用済みオムツ持ち帰り問題について、考えに近いものはどれですか。

- 園で処理した方が良い
- 保護者が持ち帰った方が良い
- わからない

4-3. 4-2の回答について具体的な考えをお聞かせください。（目安文字数：40～80 文字程度）

便の様子を見て、わが子の体調を知りたいと考えるママさんもいるかもしれませんが、衛生面で考えると、園で処理する方が感染症のリスクも減る上に保育士の手間も省けるのでその方が良いと思います。

4-4. 保育士の労働環境改善について、その他市として取り組みたいことがありましたらお聞かせください。（目安文字数：80～100 文字程度）

保育士からのヒアリングの徹底。

5. 保育園に関する規制緩和について

国が待機児童対策のために、地方自治体が保育の質を確保するために自主的に設けている規制を緩和し国の基準にあわせるように求めています。例えば、国基準は、1人の保育士がみる子どもの人数を「1歳児で6人に1人」などとしており、独自基準を持つ自治体にこの基準まで引き下げようとして要請し、ほとんどの自治体が要請を受け入れなかったという事例があります。国が要請する規制緩和について具体的な考えをお聞かせください。

（目安文字数：80～100 文字程度）

現場を知れば、このような要請は出来ないと思います。

6. 未就園児家庭の支援について

特定の保育所を希望していたため潜在的な待機児童になってしまった家庭や育休中など未就園児を家庭で保育している世帯向けの支援が必要だという声があります。未就園児を家庭で保育する世帯への支援について考えをお聞かせください。

（目安文字数：100～150 文字程度）

何かあったときや、ママさん達がリフレッシュしたいと思ったときに、すぐに見てもらえる一時預かりの充実。コミュニティサークルを充実させ、社会から孤立しない手助けも必要だと思います。

7. 幼児教育無償化について

7-1. 現政権が2017年12月8日に閣議決定した2兆円規模の政策パッケージの中に幼児教育・保育の無償化（約8000億円）が盛り込まれました。この幼児教育・保育の無償化についてあなたの考えに近いものはどれですか？

- 無償化すべき
- 無償化よりも全入化
- 無償化に反対
- その他

7-2. 7-1の回答について具体的に考えをお聞かせください。

(目安文字数：100～150文字程度)

現在、この市長選挙において、高等教育の無償化を公約として謳っております。子どもたちに関係するものについて、基本的には無償化で良いと思います。

8. 幼保一元化・保育園の選択的義務教育化について

幼保一元化は少子化の進行、育児サービスの多様化に伴って生じている幼稚園と保育園の抱える問題点を解決するべく、幼稚園と保育園の一元化を図ろうとする政策であり、2006年には「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」が制定され、幼保一体化施設として認定こども園制度が開始されました。静岡市では2015年から市立の保育園・幼稚園をすべて認定こども園に移行させるなど独自の取り組みをしています。また幼児教育の早期化が欧州を中心に海外でも注目されており、ハンガリーでは3歳からの義務教育を開始、フランスでも3歳からの義務教育化を検討しています。日本では社会学者の古市憲寿氏が「保育園義務教育化」を出版し、橋下徹前大阪市長と議論するなど話題となりました。このような子育て政策に関する抜本的な見直しについて、考えをお聞かせください。(目安文字数：100～150文字程度)

自立心や自己肯定を育てる上で、幼児教育の早期化は有効であると思います。

9. 市立保育園の民間委託について

待機児童対策の一環で、私立保育園の受け入れ枠の拡大、預かり保育の拡大を実施していますが、今後市立保育園を民間へ委託していくという方向性の有無や、その他市立保育園の民間委託についての考えをお聞かせください。

(目安文字数：80～100文字程度)

行政の管理下の元で民間委託をしていくのは有りだと思います。

ご回答ありがとうございました。